

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎学校評価資料  
—生徒、保護者、教師を対象とする調査結果—

令和6年3月

## (1) 調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

### 【生徒・保護者用】

- Q1 中学・高校の別
- Q2 性別（生徒の性別）
- Q3 学年
- Q4 組
- Q5 SSH 科目受講の有無（中学生は該当せず）

生徒：「学校の様子や、あなたの1学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」

保護者：「学校の様子やお子さまの1学期から今までの学校生活をどう思われますか。」

1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：少しそう思う、4そう思う

- Q6 私は学校に行くのが楽しい。(子どもは楽しく学校に行っている。)
- Q7 私は(子どもは)先生を信頼している。
- Q8 私は(子どもは)友人を信頼している。
- Q9 私は(子どもは)将来に目標を持ち、それに向けて努力している。
- Q10 私は授業をうけるのが楽しみだ。(子どもは楽しく授業を受けている。)
- Q11 私は(子どもは)予習復習や課題の提出などに普段から努力している。
- Q12 授業では深く考えたり探究的であったりするような課題が出されている。
- Q13 私は(子どもは)授業や学習において GIGA 端末など ICT 機器をよく活用している。
- Q14 私は(子どもは)グループで活動しながら学習するのが好きだ。
- Q15 私は(子どもは)心配や悩み事がある。
- Q16 私は困りごとや悩み事を相談できる相手がこの学校にいる。  
(この学校には、自分の子どもが困りごとや悩み事を相談できる相手がいる。)
- Q17 私は社会のルールや、学校のルールをよく守って生活している。  
(学校は社会のルールや、学校のルールをよく守らせようと取り組んでいる。)
- Q18 私は防災や安全に関心があり大切にしている。  
(学校は防災意識や安全意識を向上させようとしている。)
- Q19 私は自分の心と身体の健康を保つよう意識している。  
(学校は、子どもの心と身体の健康を保つよう取り組んでいる。)
- Q20 私は、お互いの人権を尊重している。  
(学校は、お互いの人権を尊重するよう取り組んでいる。)
- Q21 私は(子どもは)家庭で学校のことをよく話す。
- Q22 私は私の保護者によく理解されている。  
(私は子どもによく理解されている。)
- Q23 私は通う学校に誇りを持っている。  
(私は子どもの行く学校に誇りを持っている。)

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	学年
Q4	組
Q5	なし
Q6	私は職場に行くのが楽しい。
Q7	私は生徒から信頼されている。
Q8	私は同僚を信頼している。
Q9	私は生徒が将来に目標を持ち、それに向けて努力するよう指導している。
Q10	私は学ぶ楽しさを意識した授業づくりを行っている
Q11	私は生徒の学習習慣の向上を意識した指導を行っている。
Q12	私は深く考えたり探究的であったりするような授業作りを行っている。
Q13	私は授業中やその他の活動において生徒に ICT 機器をよく活用させている。
Q14	私は、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を行っている。
Q15	私は心配や悩み事がある生徒によく気がつく。
Q16	私は生徒の困りごとや悩み事の相談をよく受ける。
Q17	私は社会のルールや、学校のルールをよく守らせようと指導している。
Q18	私は防災意識や安全意識を向上させようとしている。
Q19	私は、子どもの心と身体の健康を保つよう取り組んでいる。
Q20	私は、お互いの人権を尊重するよう取り組んでいる。
Q21	私は保護者から信頼を得ている。
Q22	私は生徒とその保護者の関係をよく理解している。
Q23	私は勤務する学校に誇りを持っている。

生徒・保護者及び教員ともに質問項目を R1 から 3 者に同様の内容を問う項目に改めた。

(2) 回答者数

対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

属性	性別			合計
	男	女	無記不明	
生徒	187	194	7	388
(n= 388)	48.2%	50.0%	1.8%	
保護者	120	139	3	262
(n= 262)	45.8%	53.1%	1.1%	
教員	22	5	0	27
(n= 27)	81.5%	18.5%	0.0%	
全体	329	338	10	677
(n= 677)	46.7%	48.0%	1.4%	

### (3) 学校生活にかかわる自己評価の(クロス集計)結果

#### Q6. 学校は楽しい

	回答数	肯定
生徒	388	89.2
保護者	252	92.1
教員	27	88.9

生徒、保護者、教員の肯定的な回答の比率が8割を越え、概ね楽しい学校ではあるが、逆に言えば10%程度の生徒は楽しいと思っていない。

#### Q7. 先生を信頼(している・されている)

	回答数	肯定
生徒	363	83.2
保護者	249	91.2
教員	27	92.6

生徒、保護者、教員の肯定的な回答の比率がそれぞれ8割、9割、9割と高いが、生徒の信頼度がその中では低い。

#### Q8. 友人(同僚)を信頼

	回答数	肯定
生徒	364	89.6
保護者	242	95.9
教員	27	92.6

生徒、保護者、教員とも肯定的な回答の比率が9割あるいはそれ以上あり、互いに信頼する関係にある。

#### Q9. 将来の目標・努力

	回答数	肯定
生徒	371	78.7
保護者	255	79.6
教員	27	100

すべての教員は指導しているが、生徒の2割ほどが、(まだ?)将来について、目標が定まっていない。

#### Q10. 授業が楽しい

	回答数	肯定
生徒	367	64
保護者	242	79.8
教員	26	100

保護者、教員とも肯定的な回答の比率が 8 割以上あるが、生徒の約 1/3 は、授業が楽しいと思っていない。

#### Q11. 予習復習

	回答数	肯定
生徒	379	65.4
保護者	254	75.6
教員	27	88.9

生徒の 6 割程度の生徒が予習復習に努力しているが、この値は中学生の回答に比べ、約 10% 小さい。高校では予習復習にも時間がかかるので不完全になるということかもしれない。

#### Q12. 探究的課題がある

	回答数	肯定
生徒	369	84.8
保護者	234	87.6
教員	27	100

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が 8 割を越え、探究的課題が出されていることを認識している。

#### Q13. ICT 機器を活用

	回答数	肯定
生徒	370	68.6
保護者	238	81.1
教員	27	66.7




ICT 機器の活用は、保護者の約 8 割がされていると思っているのに対して、生徒の約 3 割はそう思っていない。中学生の ICT 機器の活用への回答が、9 割を超えているのに比べ、高校生はその活用が少ないと感じている。

Q14. グループ学習が好き

生徒	366		78.7
保護者	248		75.8
教員	27		81.5




生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、7割を越えている。

Q15. 心配・悩み事あり

	回答数	肯定	
生徒	362		54.7
保護者	244		29.9
教員	26		57.7




約半数の生徒に心配や悩み事があるのに対して。保護者はその半分(1/4)しか子どもに悩みがあるとは思っていない。この比率は中学生に対する回答とほぼ同じで、中高生とも同じように悩みを抱えている生徒がそれなりにいることがわかる。

Q16. 相談相手

	回答数	肯定	
生徒	369		82.7
保護者	247		84.6
教員	27		55.6

生徒や保護者から見て、約8割の生徒には相談相手となる友人がいる。この値は中学生の回答より数%大きく、高校で友人とさらに密な関係になっていることが想像される。

Q17. 社会や学校のルール遵守

	回答数	肯定	
生徒	355		91.8
保護者	237		78.9
教員	27		77.8

社会や学校のルール遵守に努めている割合は9割を越え真面目である。ただ保護者は、中学生への回答よりその比率が15%程度低い。

### Q18. 防災安全教育

	回答数	肯定
生徒	347	78.1
保護者	236	78.8
教員	26	61.5

防災や安全に関心があり大切にしている割合は、8割程度である。

### Q19. 心と身体の健康

	回答数	肯定
生徒	357	85.2
保護者	229	83
教員	27	92.6

心と身体の健康を保つよう意識している比率は、保護者、生徒とも8割程度ある。

### Q20. 互いの人権を尊重

	回答数	肯定
生徒	340	93.8
保護者	224	89.7
教員	27	96.3

互いの人権を尊重すると回答した比率は、生徒、保護者、教員とも9割あるいはそれ以上ある。

### Q21. 家庭で会話

	回答数	肯定
生徒	368	69.6
保護者	258	73.6
教員	27	85.2

家庭で学校のことをよく話す生徒は、約7割、話すと感じる保護者は約7.5割である。中学生の回答より数%低く、高校生は中学生より家庭で会話が少なくなる傾向がみられる。

### Q22. 保護者に理解

	回答数	肯定
生徒	352	82.1
保護者	242	81.4
教員	26	65.4

生徒の8割以上が、保護者に理解されていると感じている。

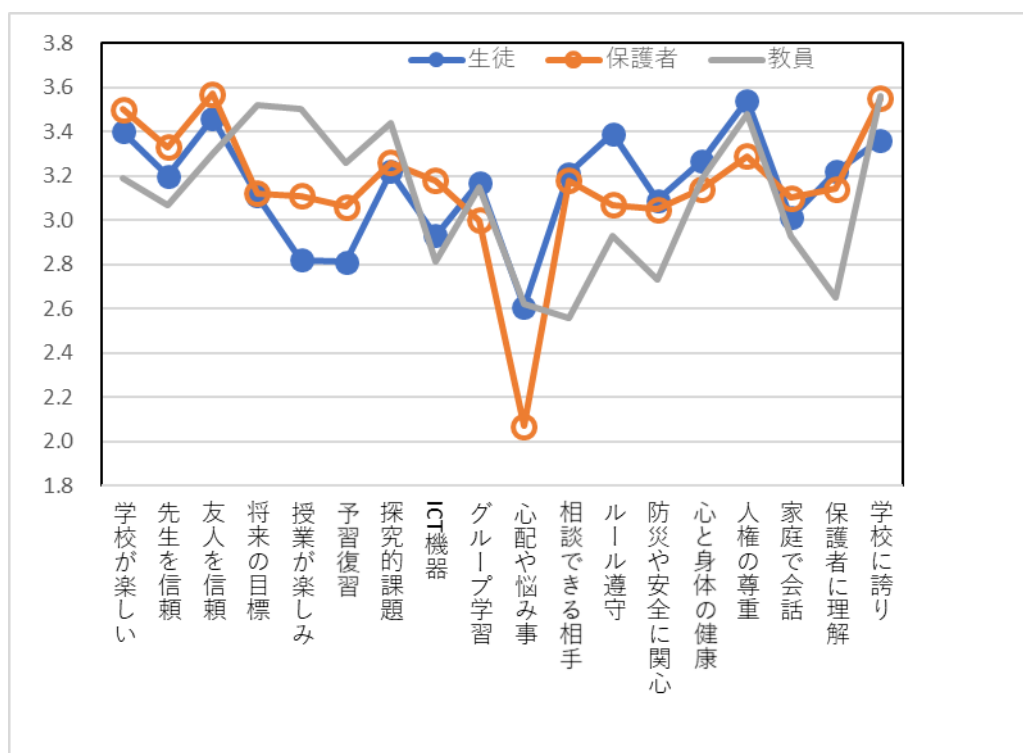
### Q22. 学校に誇り

	回答数	肯定
生徒	360	86.7
保護者	251	92.8
教員	27	96.3

生徒は85%以上、保護者、教員ともに90%以上が、学校に誇りを持っている。

## 4) 学校生活にかかわる自己評価の比較

### ① 生徒、保護者、教員間比較



アンケート項目に対する回答（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：多少そう思う、4：そう思う）を比率尺度とみなして、生徒、保護者、教員の各項目に対する回答の平均を算出した。



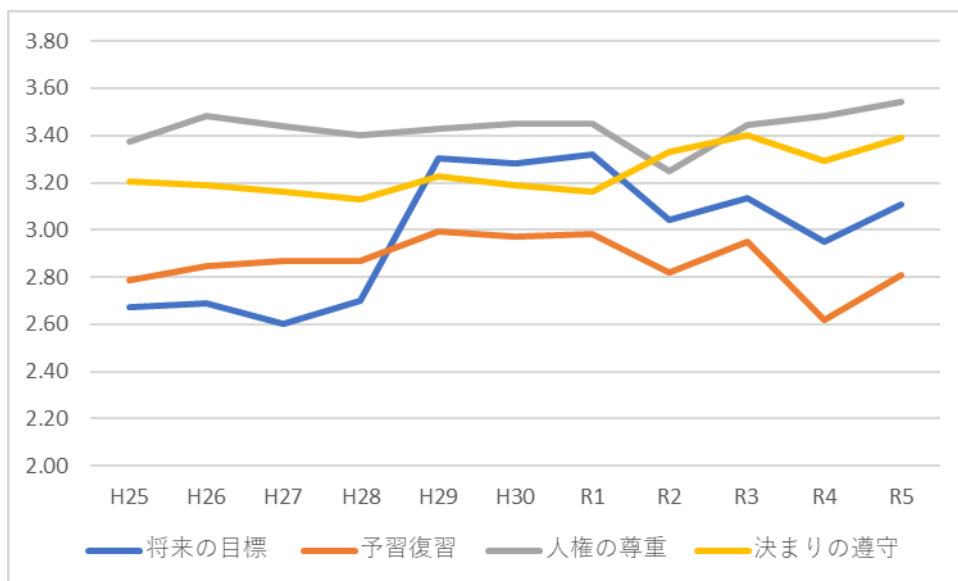
図の左側にある項目(学校でのことがら)では、生徒より保護者の方が肯定的回答率が高い。保護者の学校への期待や信頼度が大きいことを示していると思われる。一方、図の右側の項目(ルール順守や人権の尊重)では、保護者より生徒の方が肯定的回答率が高く、保護者が思う以上に生徒は、社会的常識(社会のルール遵守)を身に着けていると思われる。

	項目	生徒	保護者	教員
Q 6	学校が楽しい	3.40	3.50	3.19
Q 7	先生を信頼	3.20	3.33	3.07
Q 8	友人を信頼	3.46	3.57	3.30
Q 9	将来の目標	3.11	3.12	3.52
Q 10	授業が楽しみ	2.82	3.11	3.50
Q 11	予習復習	2.81	3.06	3.26
Q 12	探究的課題	3.22	3.26	3.44
Q 13	ICT機器	2.93	3.18	2.81
Q 14	グループ学習	3.17	3.00	3.15
Q 15	心配や悩み事	2.61	2.07	2.62
Q 16	相談できる相手	3.21	3.18	2.56
Q 17	ルール遵守	3.39	3.07	2.93
Q 18	防災や安全に関心	3.09	3.05	2.73
Q 19	心と身体の健康	3.27	3.14	3.19
Q 20	人権の尊重	3.54	3.29	3.48
Q 21	家庭で会話	3.01	3.10	2.93
Q 22	保護者に理解	3.22	3.14	2.65
Q 23	学校に誇り	3.36	3.55	3.56

## ② 年度別推移

アンケート項目に対する回答（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：多少そう思う、4：そう思う）を比率尺度とみなして、年度別の生徒の各項目(継続して調査している項目)に対する回答の平均を示した。

年度	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5
将来の目標	2.67	2.69	2.60	2.70	3.30	3.28	3.32	3.04	3.13	2.95	3.11
予習復習	2.78	2.85	2.87	2.87	2.99	2.97	2.98	2.82	2.95	2.62	2.81
人権の尊重	3.37	3.48	3.44	3.40	3.43	3.45	3.45	3.25	3.44	3.48	3.54
決まりの遵守	3.20	3.19	3.16	3.13	3.23	3.19	3.16	3.33	3.40	3.29	3.39



継続してアンケートを実施している4項目について、平成25年から11年間の推移を図に示した。これら4項目の中で、コロナ禍の過去3年(R2~R4)に比率が大きく変化した項目は、「将来の目標」についてである。先行きの見えない不安な世相を反映しているのか、将来の目標を持ちにくい、努力できない、雰囲気を示しているのかもしれない。この傾向は、中高ともに見られた。また、「予習復習」の項目も減少傾向が見られる。コロナ禍で対面授業が減った影響などが表れているのかもしれない。R5には、全体に回復傾向が見られ、コロナ禍の時期を脱したかに思える。